

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】令和4年6月22日(2022.6.22)

【公開番号】特開2022-70902(P2022-70902A)

【公開日】令和4年5月13日(2022.5.13)

【年通号数】公開公報(特許)2022-084

【出願番号】特願2022-15944(P2022-15944)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/62(2006.01)

10

C 0 7 K 7/06(2006.01)

C 0 7 K 19/00(2006.01)

C 1 2 N 15/63(2006.01)

C 1 2 P 21/02(2006.01)

C 1 2 N 1/00(2006.01)

C 0 7 K 14/00(2006.01)

C 1 2 N 1/21(2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/62 Z

C 0 7 K 7/06 Z N A

20

C 0 7 K 19/00

C 1 2 N 15/63 Z

C 1 2 P 21/02 C

C 1 2 N 1/00 B

C 0 7 K 14/00

C 1 2 N 1/21

【手続補正書】

【提出日】令和4年6月14日(2022.6.14)

【手続補正1】

30

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

以下の配列：(a) 配列MGRISSGG（配列番号1）又は1、2若しくは3個のアミノ酸置換、欠失若しくは挿入により配列が異なるその変異体、及び(b) (a)に対してC末端の異種シグナル配列を含む、組み換えシグナル配列。

【請求項2】

40

以下の配列：(a) 請求項1に記載の組み換えシグナル配列；及び(b) (a)に対してC末端の異種組み換えタンパク質を含む、組み換え融合タンパク質。

【請求項3】

請求項1に記載の組み換えシグナル配列又は請求項2に記載の組み換え融合タンパク質をコードする組み換え核酸配列。

【請求項4】

配列MGRISSGG（配列番号1）を含むシグナル配列をコードする組み換え核酸配列であって、該核酸配列は、宿主細胞での発現に関してコドン最適化されている、上記組み換え核酸配列。

【請求項5】

50

請求項3又は4に記載の核酸配列を含む組み換え発現ベクター。

【請求項6】

以下のステップ：

(a) 宿主細胞中に存在する請求項5に記載の組み換え発現ベクターからの前記組み換えタンパク質の発現を可能にする条件下で宿主細胞を培養するステップ；及び

(b) 該組み換えタンパク質を回収するステップ

を含む、宿主細胞中で組み換えタンパク質を生成するための方法。

【請求項7】

以下のステップ：

組み換えタンパク質の発現を可能にする条件下で宿主細胞を培養するステップであって、 10

該宿主細胞が、以下の配列：(i) 配列MGRISSGG（配列番号1）又は1、2若しくは3個のアミノ酸置換、欠失若しくは挿入により配列が異なるその変異体を含む組み換えシグナル配列、及び(ii) 組み換えタンパク質、をコードする組み換え核酸配列を含む、上記ステップ

を含む、組み換えタンパク質を発現する宿主細胞培養液の粘度を制御するための方法。

【請求項8】

誘導前条件下で宿主細胞を培養するステップを含む、宿主細胞培養液により発現される組み換えタンパク質の基底発現を制御するための方法であって、

該宿主細胞が、(i) 以下の配列：配列MGRISSGG（配列番号1）又は1、2若しくは3個のアミノ酸置換、欠失若しくは挿入により配列が異なるその変異体を含む組み換えシグナル配列、及び(ii) 組み換えタンパク質、をコードする組み換え核酸配列を含む、 20  
上記方法。

30

40

50